

# オアシス通信



## 仕事を道して主の導き

### ギデオン協会の働き紹介

例年この時期にギデオンマンの方に来ていただいで働きの紹介と証しをしていただき、礼拝献金を働きのために捧げています。今年は、服部正博兄（ギデオン教会岐阜支部会員）が、二月二十一日の礼拝に出席され、ギデオン教会の働きを紹介してくださいました。また、以下のような個人的なお証しをしてくださいました。



幼少期の家庭での不和、両親の離婚、自暴自棄な思いを経験し悩み迷った中で、自己中心の罪の姿を見、苦しみの中で祈り求める中、教会において主イエス・キリストに出会い、方向が変えられ、洗礼を授かりました。その後、ク

## キリスト教葬儀の意味と実際を学ぶの

兄弟会では、二月二十一日の礼拝後に、ギデオン協会の働きを紹介するために来てくださった服部正博兄のご好意を得て、希望にあふれるキリスト教葬儀の意味と葬儀の実際についての講演をしていただきました。

名古屋の葬儀社に勤めた経験を生かして起業し、セミナー・グレイス&トルースを最近始められた服部兄の体験を交えたお話しは実際的で参加者にとって有益なものでした。

## 6月からタイで宣教

### 新門師、主の導きを証し

2月28日の礼拝に、関西聖書学院（KBI）卒業生でタイ宣教師としての召命を受けた、新門広美（しんもん ひろみ）先生をお迎えしました。クリスチャンの母親を持ちながら、ずっとキリスト教に反発して成長し、聖書さえ読んだことがなかったが、社会福祉施設での仕事で悩んだときに、イエス様への信仰を持つようになった経緯をまず証してくださいました。



その後、スライド写真を使い、6月に赴任するタイのチェンライ近くの少数民族の様子を知らせていただきました。現地では、現地の働き人と協力して、タイに住む少数民族の若者、子ども達がイエス様の愛と赦しを受けて、キリストにある健全なアイデンティティを持って生きることができるよう信仰を励ますこと、また、福音が伝わっていない地域、部族にまで働きかけていくことを使命としていること分かち合ってくださいました。

リスチャン女性と結婚しました。救いを家族の中に広げて下さり、家を出ていた父が病気を抱えて私たちの所に帰ってきて一緒に住む中、イエス様を救い主として信じました。新しく主と共に歩む道に導かれた後、三十年近く勤めた会社勤務を辞め、リストラ（事業の再構築）するよう道がひらかれ、今は葬儀屋としての仕事を通して神（創り主）が生きて働かれることを証しています。

### 祝福の献見式

二月七日の礼拝の中で、上



田正雄兄と由美姉に与えられた華ちゃんⅡ写真⑤Ⅱの献見式が持たれました。また、お知らせが遅くなりましたが、昨年十一月一日には、原田育将兄と愛姉に与えられた希愛（あ）ちゃんⅡ同⑩Ⅱの献見式が持たれました。主の祝福と守りが、二人の上に豊かにありますように！